

平成22年度緊急雇用創出事業(八戸市委託事業)

地域生活交通再生ミSSIONナリー育成・活動事業

(社)北海道開発技術センター

◆事業の目的

八戸市のバス路線の中には、採算性の低い(赤字)の路線がいくつもあります。また、地球温暖化問題への関わりからも自動車に依存した社会構造には課題があり、適切な公共交通へのシフトが求められる状況にあります。そこで、八戸市民に対して、バスの重要性を理解していただくため、コミュニケーションを重視した利用促進策を実施します。また、バス乗降支援等を実施し、市民が利用しやすいバス路線としてのイメージを定着させます。

◆事業の概要

★ 地域住民・バス利用者とのコミュニケーション(ミSSIONナリー活動)

多くの市民にバスを利用いただけることを目的として、地域別の路線図・時刻表や動機付け冊子を作成・配布し、バス路線沿線の住民に対して、直接的に利用促進の呼びかけを行います。

★ バス乗降支援(アテンダント活動)

高齢者などに対して、バスの乗降の支援を行います。

★ モビリティセンター窓口対応

八戸市三日町に事業拠点(八戸中心街ターミナルモビリティセンター)を設け、そこを訪れるバス利用者に対して、公共交通に関する情報提供や窓口対応(質問等に答える)を行います。

★ 取組内容・事業効果を八戸市民に対して広く周知

ニュースレターやHP(ブログ・ツイッター)、成果報告会等で本事業における取組内容や効果を八戸市民に対して広く周知します。

★ アンケート調査

本事業の効果を計測するために、八戸市民や企業を対象としたアンケート調査を実施します。

- 企業・バス事業者等へのヒアリング(聞き取り)調査
- アンケート調査票の配布
- データ入力や集計作業 等



地域別バス時刻表(案)



乗降支援イメージ



バス利用のススメ(案)
(動機付け冊子)



成果報告会イメージ



ニュースレター
(当別町の実施例)

モビセン

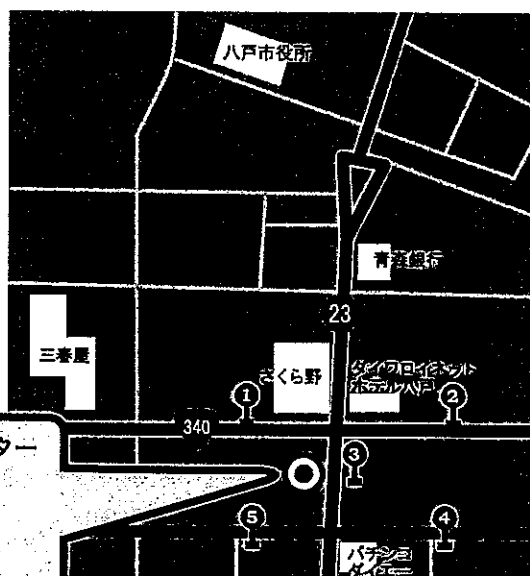
八戸中心街ターミナルモビリティセンター

オープン

八戸市のバス路線の中には、赤字の路線がいくつもあります。また、地球温暖化問題からも自動車に頼りすぎた今の社会には課題があり、適切な公共交通の利用が求められています。

そこで、『八戸中心街ターミナルモビリティセンター(モビセン)』をオープンし、バスの路線や運賃、乗り継ぎ方法等の情報提供をさせていただきます。

市民のみなさまのより良い交通の利用を目指し、活動を行っていきますので、ぜひ、ご利用いただきたくお願いいたします。



- 名 称／八戸中心街ターミナルモビリティセンター
【略称：モビセン】
- 住 所／八戸市大字三日町14-2
青山テラス(旧笹川ビル)1階
- 電 話／0178-20-9150
- FAX／0178-45-3280
- 営業時間／10:00～17:00(土日祝日も営業します)

モビセンQ&A

Q モビセンって何をするとところ？

A モビセンでは、バスの路線や運賃、乗り継ぎ方法等の情報提供をさせていただきます。
例えば、ご自宅付近のバス停の時刻表がほしい!といった場合は、差し上げることも可能です。

Q モビセンには何があるの？

A モビセンには市民の皆さんにアドバイスを行うためのパンフレットやバスマップ等があります。
また、全国各地のバスチョロQも展示してあります。

Q モビセンってバス停？

A モビセンはバスを待つための施設ではありません。
バスに関する総合的なアドバイスを受けることが出来る施設です。

